学校番号	218

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽　Ⅲ　改訂版　（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰ、Ⅱの学習を基礎にし、能力・適正・興味・関心等に応じた活動を展開します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・一人ひとりの個性を大切に、豊かな音楽の能力を高めましょう。
・演奏技術のみならず、感じる心や表現することなど心の音楽を育てながら、音楽する楽しさ・喜びをどんどん増やしていきましょう。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることをねがっています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる感性を磨き、個性豊かな音楽の資質・能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化を尊重する態度をもち、音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的に個性豊かな音楽の能力を高める学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素と音楽の表現内容を総合的に理解し、表現上の効果を生かしながら、個性豊かな表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自己のイメージや感情音楽の文化的・歴史的背景などと関連付け、創造的に表している。	音や音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽の構造上の特徴、他の芸術や文化とのかかわりを考えたりして、創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート 出席状況 授業態度	観察 ワークシート	演奏の聴取 作品提出	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	日本のポップスに親しみ、そのよさを味わおう	【歌唱】 桜の栞 卒業写真	○	○	○		a:曲種に応じた発声の特徴に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うこと。 c:曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーアンサンブルの響きを味わおう	【器楽】 「交響曲第１番」から第４楽章	○	○	○		a:様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素と楽曲の表現内容を総合的に理解し、創造的に演奏することに表現意図をもっている。 c:様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果をいかした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	編曲しよう	【創作】 「故郷の人々」を編曲しよう	○	○	○		a:創作の楽しさを知り、自ら進んで取り組もうとしている。 b:互いの音を聴きあい、各パートの役割を意識しながら演奏している。 c:創作にする要素を理解し、様々な手法を創造的に用いてつくっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	さまざまな音楽のリズムに触れよう	【鑑賞】 世界の音めぐり	○			○	a:世界各地の音楽に触れ、それぞれの文化の一端を知ろうとしている。 d:世界各地の音楽について、自分なりの観点からそれぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	合唱の響きを味わおう	【歌唱】 想い出がいっぱい （合唱）	○	○	○		a:合唱のよさを体感しようとしている。互いに協力し合って音楽を作り上げようとしている。 b:合唱のよさを感じ取り、各パートの特徴や役割を理解している。 c:曲にふさわしい発声の仕方やパート間のバランスなどに注意して表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	三線を弾き語りしてみよう	【器楽】 島人ぬ宝 （歌＋三線）	○	○	○		a:自ら進んでさまざまな楽器の演奏に取り組み、表現上の効果を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b：楽器の音色や響きの特徴を感じ取り、そのよさを生かした表現を工夫している。 c:音量やアーティキュレーションなどに留意しながら調和の取れた音楽を創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	現代の音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 ソナタとインターリュード （ジョン・ケージ）	○			○	a:楽器の音色の特徴と音楽の構造上の美しさとのかかわりを理解し、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素と表現上の効果とのかかわりを理解し、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート
3学期	歌曲に親しみ、そのよさを味わおう	【歌唱】 Hey Jude Take me home, Country Roads	○	○	○		a：語学に関心をもち、曲想を楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素と曲の背景を理解し、どのようにうたうかについて表現意図をもっている。 c:歌詞を理解して曲の特徴を踏まえながら、曲の雰囲気に合った音楽表現をするために必要な歌唱の技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	童謡の弾き歌いに挑戦してみよう	【器楽】 ぞうさん どんぐりころころ 思い出のアルバム	○	○	○		a：様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現意図をもって創造的に演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b：音楽を形づくっている要素と楽曲の表現内容を総合的に理解し、音楽表現を創造的に工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ｃ：弾き歌いするために必要なキーボードの演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本の音風（四季の音楽）	【鑑賞】 春の海 祇園祭 松風 御神楽	○			○	a：日本の伝統音楽に触れ、日本の文化に対する理解を深めようとしている。 d：日本の伝統音楽に使われている声や楽器の音色のよさを創造的に味わっている。	

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ、ｂ、ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ、ｄの２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。